

◆ 新職員の紹介 ◆

支援センター
みらい

田中 香



はじめまして。2月から支援センターみらいの事務員として働いています。以前に他の作業所で職員をした経験がありますが、仕事復帰は10年ぶりです。わからないことばかりで日々勉強中です。一日でも早く慣れるよう頑張りますので、よろしくお願い致します！

就労移行支援事業所

ふつーる

内田 貴子



1月18日より支援センターみらい 就労移行支援事業所の生活支援員として加わりました。早く仕事に慣れ、利用者様とのコミュニケーションに心がけて少しでも役にたてる事を探していきたいと思えます。宜しくお願いします。

就労移行支援事業所ふつーる 利用者募集中

～LET'S 就職♪～

ふつーるでの取り組み

- ・喫茶業務（接客・厨房）
- ・清掃業務
- ・一般企業での企業実習
- ・社会技能訓練

（履歴書の書き方、社会マナーの勉強など）



一般就労を希望する知的・精神障害

を持つ18歳以上の人を対象に、就労・職場への定着を目指した支援を行います。

● 編集後記 ●

平成27年度も残りわずかとなりました。毎年のことですが、1年はあっという間に過ぎてしまいますね。

この冬も寒かったり、暖かかったり…着るものを選んだり、衣服を調整するのも一苦労ですよね。

この1年、支援センターみらいもいろいろなことがありましたが、来年度もみなさまのお役に立てるように一同頑張っています。よろしくお願い致します。

（編集担当者）



支援センターみらい通信 vol.12

編集・発行	住所
社会福祉法人 豊中親和会 支援センターみらい	〒560-0022 豊中市北桜塚3-8-17
発行人	TEL/FAX
岡本 啓	TEL : 06-6853-2400 FAX : 06-6853-2401

社会福祉法人豊中親和会

『 理事長交代の挨拶 』



退任あいさつ

星屋 好武



就任あいさつ

吉田 耕治

この度理事長を退任することとなりました。

丁度10年間理事長を務めましたが、就任のときは会社に勤務しながらの理事長と当時の親の会の会長でしたので皆様には大変ご迷惑をかけていたと思います。

この10年間に障害者福祉の制度、仕組みが大きく変わりました。

措置の制度から契約制度となり障害者自立支援法が施行され、利用者と法人事業所の仕組みが大きく変わりました。また障害者の権利も大きく変わり、国際権利条約の批准に向けて、障害者教育基本法の改正から、障害者虐待防止法の施行、成年後継人制度の推進、障害者総合支援法の施行、障害者差別解消法の制定等、障害者の権利が大きく向上しました。しかし法人の運営はこれからも難しい状況は変わらないと思います。

これからは手をつなぐ育成会の会長として、障害者の権利を守り、共生社会の実現を目指し、頑張りたいと思います。

さて、10年の長きに亘り理事長としてご尽力いただきました星屋 好武さんが、昨年11月15日を以って退任され、私がお後任を務めることとなりました。

これまで常務理事兼管理者として法人運営の一端を務めさせていただきましたが、これからは法人全体のまとめ役という重責を担うこととなり、身の引き締まる思いが致しております。

福祉分野を取り巻く環境は依然として厳しく、社会福祉法人制度の改革など法人に関わる様々な課題や懸案は山積していますが、職員の方々と力を合わせて着実に対応してまいりたいと考えています。

今後とも利用者ならびに地域から信頼される法人としての責務が果たせるよう微力ながらも努めてまいりますので、皆様方には前任者にも増してのご指導 ご鞭撻をうけ賜りますようお願い申し上げます。

ヘルパーステーション あしすと

『今度のお休みは…』



移動支援を利用したいけど、どこに行けばいいのかわからないというお声をよく耳にします。毎月利用されている利用者さんも悩まれるところですね。

電車に乗ったり見たりするのが好きな方は、京都や神戸、奈良まで電車に乗って行き、途中で下車して電車を見たりされていますし、音楽やダンスが好きな方は、音楽レクリエーションに参加したり、稲スポーツセンターでのエアロビクスなどの講座（申込みが必要）などで楽しく過ごされています。仲の良いお友達と合流してボウリングやカラオケやバーベキューで盛り上がり余暇を満喫される方もいます。

また、土日や祝日は色々な場所でイベントがおこなわれていて、市の広報誌やチラシなどに掲載されているものもありますし、ヘルパーも情報収集していますので、聞いていただければ参考になるかもしれませんね。何度か利用されるうちにお気に入りのコースが出てきたり、新たな発見があるかも！

これから暖かい季節がやってきます。みなさんも一度ヘルパーと出かけてみませんか。
(中江)



相談支援事業所みらいは

『豊中市障害者自立支援協議会』に参画しています！！

『豊中市障害者自立支援協議会』をご存じですか？『豊中市障害者自立支援協議会』とは、障害がある人もない人も安心して暮らすことのできる街づくりを進めるために、「問題」となることについて考え、どうすれば「解決」できるかを話し合う、市と民間事業所との官民協働の話し合いの場です。民間事業所の中核は、委託相談支援事業所で構成されており、「相談支援事業所みらい」も参画しています。

今年度の取り組みのひとつとして、昨年11月より委託相談支援事業所を市内9か所に割り、障害種別にかかわらず、担当地域の相談窓口となる相談体制ができました。



「相談できる場所がたくさんありすぎて、どこに相談したらいいのかわからない…」

「サービス等利用計画を作成してほしくて電話したが、今はいっぱいなので…と断られる」など市民の方の声を聞き、話し合いました。その結果、相談窓口をわかりやすくし、相談を断ることなく、一旦どこかで受け止めることのできる体制を整えました。このように、地域の課題を話し合い、暮らしやすい街づくりを話し合う大事な場として、『豊中市障害者自立支援協議会』は存在しています。

相談支援事業所に困りごとを色々話して下さい。みなさまから伺った声を協議会に挙げていき、暮らしやすい街になるよう市の方と一緒に考えていきます。(内海)



就労移行支援事業所ふつーる

『スポッチャへGOGO♪』

真冬の寒さも少しずつやわらいできた2月20日（土）、大阪なんばのラウンドワン千日前店にて余暇活動を実施しました。

ボウリング・バッティングセンター・カラオケ・パターゴルフなど10種類以上のアトラクションが利用できるスポッチャで利用者さんが各々ご自分で好きなものを選び、楽しく遊んでおられました。普段から野球の話で盛り上がることの多い利用者さんは真っ先にバッティングセンターに向かい、色々なポーズを取ったり、球を打つというも以上の笑顔を見せておられました。また、音



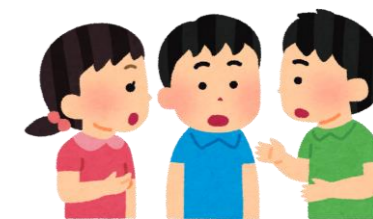
栗ヶ丘ホーム

『メンタルヘルスケア～心と体のストレスをやわげる～』

1月末、上記テーマにて、グループホーム全体研修が行われました。先日からの介護施設での支援員による利用者殺人事件のニュースが何度も流れてきましたが、これも支援ストレスからおきてしまった悲しい事件でした。社会で生きていく、職場で働く、どこで働いてもストレスに無関係という訳にはいかないのが現実です。バブル崩壊以降においては、特にストレスによるうつ病が増え、それによる自殺者が急増しています。自分もいつなるかわからない、もう他人事ではないと思います。

今回の研修の中で、「ストレスに気付いたら（嫌なこと、辛いこと、悪いこと）を話す→離す→放す→笑顔」という内容があり、まさにこれや！と思いました。これはセルフケアでは出来ないことで、企業で取り組むべくテーマだと思いました。身近なところでは管理者、監督者によるラインケア（コミュニケーション、観察、声掛け、傾聴、連携）、具体的には各事業所、ホーム単位でそれらをやっていく必要を感じました。例えば、スタッフ個人のイライラする感情を聞いてあげる方法

として、ホームでストレスノートを作ってみて、それをみんなで話し合う機会を作ったり、それを管理者に向けて発信するのも良いのではないかと思います。今回、研修に参加させて頂いて、改めて、再び、ストレスによる悲しい事件を発生させないように、風通しの良い、体制作りを望む気持ちが強くなりました。(磯中)



ターゲットを BANGA

声の指示に従ってサンドバッグをたたくアトラクションでは、カメラに残像が残るほどの素早いパンチを繰り出されていました。その他にも、カラオケで踊って歌われたり、ゲームコーナーで激しく太鼓をたたいたりと全身を使って楽しまれていました。

お天気はあいにくの雨模様でしたが、利用者の方々の顔はとても晴れやかでした。(飯田)